令和8年度　前橋東高校演劇部　活動紹介（第2号）

特報 本校演劇部、3年ぶり県大会出場・上演日時決定！

去る9月18日(土)、群馬会館で実施された群馬県高等学校総合文化祭演劇専門部中毛地区大会で、本校演劇部は優秀賞を受賞、2023(令和5）年度以来**3年ぶりの県大会出場**を決定しました。

群馬県高等学校総合文化祭演劇専門部大会県大会

日時：**10月30日(金)10:50～**

会場：**新町文化センター**（入場無料、駐車場あり）

上演作品：**福田成樹・作『月と鉄』**（上演時間約６０分）



1　部活動の概要（令和８年９月２５日現在）

部員数　３年生０名、２年生３名、１年生２名。計５名

練習時間　月・水・金　１５：５０～１８：００（曜日・時間は季節・時期などによって変わる）

火・木　１６：５０～１８：００（曜日・時間は季節・時期などによって変わる）

長期休業中　９：００～１２：００（曜日・時間は季節・時期などによって変わる）

活動費用　主に生徒会から交付される部活動予算などを使用。昨年度は部費は徴収しなかった。

2　今年度のこれまでの活動

5月3日　中毛地区高校演劇祭春季大会（人材派遣ワイズコーポレーション境文化ホール）

斜田章大・作『蟻を殺す』

本作は、心に闇を抱える女子小学生と女性教師が繰り広げる心理劇です。本作が事実上の舞台演劇デビューとなるキャスト２名が、普段とは別人のよう（普段通り？）な強烈な個性を遺憾なく発揮し、観客の皆様には「見えない心の中が見たくなる会話」などが好評でした。









9月18日　群馬県高等学校総合文化祭演劇専門部大会中毛地区県大会（群馬会館ホール）

福田成樹・作『月と鉄』≪優秀賞、県大会進出≫

本作は2025年初演の、神戸市を舞台とした風変わりなホームドラマです。方言指導の先生をお招きして神戸言葉を特訓し、音響・照明は本校放送部員の賛助を願い、画像や大道具・小道具も細部までこだわり、本作がデビューとなる１年生も大奮戦。前記の通り県大会出場を果たし、観客の皆様には自然な台詞・不思議な世界観・神秘的な照明などが好評でした。









4 これまでのおもな活動

2022(令和 4)年 11 月 12 日　県高等学校総合文化祭演劇専門部大会県大会（伊勢崎市境総合文化センター）

越智優・作『夏芙蓉』



『夏芙蓉』は、高校演劇脚本中でも屈指の有名作品です。主役以外のキャストおよびスタッフ全員が１年生という布陣で挑戦し、中毛大会では優秀賞を受賞、**26年ぶりの県大会進出**を果たしました。結果は優良賞を頂き、審査員の先生の講評では会話のテンポの良さを高く評価されました。

2022(令和 4)年 2 月 25 日　本校吹奏楽部ウィンターコンサートで合同公演（昌賢学園まえばしホール）

サン=テグジュペリ原作、津田明日棚・田村陽菜・牧野勇脚本・構成

『EWO Special stage 星の王子さま』



演劇部は、2021・22 年の２回にわたり本校吹奏楽部との合同公演を行いました。２回目の本公演では、演劇部も部長を中心に企画段階から参加し、誰もが知る児童文学の名作を吹奏楽部の美しい演奏の合間に上演しました。部員一同、**これまでで最も多くのお客様の前で上演した**貴重な体験でした。

2024(令和 6)年 1 月 27 日　関東高等学校演劇研究大会（那須塩原市・大正堂くろいそみるひぃホール）

福田成樹・作『インザハウス』



本作は、複雑な心理描写に満ちた高校演劇の名作です。すでに引退した３年生(当時)に音響をお願いして、中毛大会で優秀賞、県大会で優秀賞を受賞し、**演劇部設立以来初の関東大会出場**を果たしました。錚々たる強豪校に伍して、この時点でのベストパフォーマンスを実現、審査員の先生に「集中力が高く、心の琴線に触れる素晴らしい挑戦」と評価されました。

2025(令和７)年６月７日　本校澄流祭演劇部公演（本校視聴覚室）

小林賢太郎・作『雪男』『読書対決』、久我真希人・作『手術』



入部わずか２か月の１年生部員(**現在の2年生**)が、７年度から本校に赴任された原澤先生の指導の下、台本選出から会場設営、キャスト・音響・照明まですべて自力でやってのけました。演目は、短いながらも内容の濃いショートコント３本。**現在の前東演劇部の出発点**となる記念すべき公演でした。

お問い合わせ

群馬県立前橋東高等学校演劇部　　顧問　櫻井 泰輔・原澤 毅一

371-0002　群馬県前橋市江木町８００

TEL　０２７－２６３－２８５５　FAX　０２７－２６３―２５２４

E-mail　maehigashi@edu-g.gsn.ed.jp